

ゼロカーボン匝瑳推進協議会結成総会

2022年3月31日
匝瑳市商工会会議室
9:30～10:40

<参加者>

しおさい電力（鵜沢）、市民エネルギーちば（椿、宮下）、FJTEC（松原、園部、鈴木）、千葉銀八日市場支店長、大塚商工会長、石田市議会議長、都祭市議（予算決算常任委員長）、内山市議、匝瑳市（伊藤優志）

<協議・決定事項>

- 1、協議会の名称を「ゼロカーボン匝瑳推進協議会」とし、規約について別紙のとおり決定した。
- 2、役員について、以下の通り選出された。
 - 代表 鵜沢宣広（しおさい電力）
 - 事務局 椿茂雄（市民エネルギーちば）
- 3、脱炭素先行地域に向けての状況について、概ね以下のような報告がされた。
 - ① 2月末の第一次申請には、79件（自治体数では102）が申請され、5月上旬頃までにその中から指定をされる。いくつ指定されるかは不明だが、20～30程度という見方もある。
 - ② 匝瑳市の対応、状況としては、
 - 宮内市長が議会で「6つのビジョン」の主な施策として「自然エネルギーを生かした脱炭素先行地域の実現」を表明。
 - 環境省（関東環境事務所）にレクチャーの場を4月に持つ方向で調整中
⇒市の担当職員、市議会議員、事業者等が対象
 - ③ 宮内市長から今日の会議に出るように指示されて来た。市長としては、プロジェクトチーム的なものをつくって進めて行きたいという意向も持っている。
- 4、7月頃に予定されている2次募集での申請をめざすことを目標として、それに向けて以下の取組みを進めて行くことを確認した。
 - ① 「地域脱炭素実現に向けた計画づくり支援事業」を活用して「脱炭素先行地域」の申請を進めて行く。⇒市との共同での申請が不可欠
 - ② 推進協議会のメンバーを広げつつ、市の参加をできるだけ早期に実現する。
 - ③ 市長、市議会の働きかけと市の担当部署との意見交換や調整を進める。

④ 環境省のレクチャー（勉強会）を遅くとも4月20日行う方向で市の担当との調整を進める。市担当職員、市議会議員、事業者等の参加を呼び掛ける。

⑤ コンサルを含めたバックアップ体制づくりを進める。

5、連絡用として、メーリングリストを立ち上げる。

6、協議会は、原則として、毎月第1、3水曜日の午前9時30分から行う。場所は、市議会委員会室とし、議会の関係で塞がっている場合はふれあいセンター等とする。